

1. 路線バスの運行の変遷

震災前は、金沢線と小鎚線、桜木大ヶ口線の 3 路線を平日 3 往復、休日 2 往復の頻度で運行を行ってきた。震災後は公共交通ニーズの増大や、仮設住宅に対応するために臨時的に路線を増やし、便数も増やして運行を行ってきた。

仮設住宅の解消等を受け、令和 2 年 12 月に 4 路線を 2 路線に再編成を行い、便数についても減便し、おおむね震災以前の水準に戻して運行を継続している。

表 町民バスの運行方法の変化

期	時期	路線数	運賃	便数
第 1 期	H13～H17.3	2 路線…金沢線、小鎚線	均一制 (200 円) *半額 (小・中・高・障) *無料 (未就学児)	平日 3 往復 休日 2 往復 (車両 4 台)
第 2 期	H18.4 ～H23.3.11	3 路線…金沢線、小鎚線、桜木大ヶ口線	同上	同上
第 3 期	H23.4 ～H23.12.21	2 路線…金沢線、小鎚線	無料	5 往復 (車両 5 台)
第 4 期	H23.12.22 ～H25.1.31	4 路線…金沢線、小鎚線 大槌仮設団地ルート、吉里吉里仮設団地ルート	無料	町 5.5 往復 臨 3.5 往復
第 5 期	H25.2.1 ～H26.1.30	4 路線…金沢線、小鎚線 大槌流域線、吉里吉里浪板線	ゾーン制 (200～500 円) *半額 (小・中・障) *無料 (未就学児)	町 8 往復 臨 4 往復
第 6 期	H26.1.31 ～H28.5.8	4 路線…金沢線、小鎚線 前段生井沢線、吉里吉里線	均一制 (200 円) *半額 (障) *無料 (未就学児・小・中・高)	同上 (車両 6 台)
第 7 期	H28.5.9 ～H29.4.30	4 路線…金沢赤浜線、小鎚浪板線、前段生井沢線、吉里吉里線	同上	町 7 往復 臨 4 往復
第 8 期	H29.5.1 ～H31.3.23	同上	同上	同上
第 9 期	H31.3.24 ～R1.12.15	2 路線…金沢赤浜線、小鎚浪板線	同上	金沢赤浜線 5 往復、小鎚浪板線 7 往復
第 10 期	R1.12.16 ～R2.12.15	3 路線…金沢赤浜線、小鎚浪板線、循環線 (月火木)	同上	金沢赤浜線 4 往復、小鎚浪板線 7 往復、循環線 5 往復
現在	R2.12.16 ～現在	2 路線…金沢小鎚線、循環線	同上	金沢小鎚線 2.5～3 往復 循環線 5 往復

注：平成 23 年 3 月末からは、患者輸送バスの車両を使って、避難所と病院の送迎を行った。

平成 23 年 10 月からは、金沢線を浪板まで延伸、小鎚線を赤浜まで延伸して運行している。